

目標達成計画

作成日: 平成24年 7月 16日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40	通常月2回程度の手作り料理の日以外は、調理済みの食材を温め提供している為、調理してもらう機会が少ない。	入居者に調理(買い物・片づけ等を含む)をしていただき、より生活感を感じてもらう。	手作り料理、おやつの日を増やす。	6ヶ月
2	10	家族同士の交流が少ない。	家族同士の交流の場を設ける。	季節毎の行事の際、家族にグループホームに来ていただき、入居者と過ごすと共に家族間の交流を深めてもらう。	12ヶ月
3	6	職員に、事故発生時に対する不安がある。リスク(転倒・誤嚥・離苑等)に対する対処法が職員で共有したケアとなっておらず、共通した実践的な取り組みが必要。	職員が事故発生時に、冷静かつ自信を持って対応できる能力を身につける。	職員間のケア上の情報と事例を基に建設的な意見交換をして、実践へと繋げられるように取り組む。	12ヶ月
4	8	権利擁護(成年後見人制度)に関しては学ぶ機会もなく、職員は理解できていない。今後少子高齢化がさらに進行する時代に即した入居契約時に、身元引受人不在でも入居可能な仕組み作りに対応できなければならない。	現在被保佐人となる対象者が入居されているが、保佐人の役割を職員が理解し、意見交換ができるよう職員一人ひとりの理解度の向上を図る。	後見人として、判断能力の不十分な方々の財産管理や、療養管理の制度理解や活用法を学習する機会を、近隣の一般住民も対象とした研修会を開催し啓発する。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。